

# 第3回 桑名市民芸術文化祭

期日 平成6年11月2日～11月6日

会場 桑名市民会館・六華苑

桑名市コミュニティプラザ



## ふるさとの風・未来への光

主催 ■ 桑名市・桑名市教育委員会・桑名市文化協会

協賛 ■ 第9回国民文化祭・みえ94

まち  
まつり



## 文化の輪の広がりを！

桑名市長 中川重哉

近年、人々の意識は「モノ・カネ」から「人間の心・精神的な豊かさ」へ、「量」から「質」へ、「人並み」から「自分なりのもの」へと無形の価値に目が向けられています。こうした価値観の大きな変化は「経済の時代」から「文化の時代」への流れとなっておりこれまでになく芸術文化への志向は高まっています。

このような時代の要請に応じて、文化活動への参加の意欲を喚起し、地域における文化的振興に寄与することを目的として第3回桑名市民芸術文化祭を開催いたしますことは誠に意義深いものであると考えます。

文化は従来一部の人が行うもので一般の人々は鑑賞して楽しむといった「見る文化」から、自分で何かをつくる・する「創造する文化」へと大きく関心の度合いは変わり、すべての人が文化創造の主役となってきています。まさにその主役として多方面でご活躍の桑名市文化協会の皆様が『文化の日』を中心に日頃の成果を発表されます。それはとりもなおさず桑名市文化協会の各部門の方々の文化の底力を示す絶好の機会であり、本市の芸術文化の発展に大きな刺激をいただけるものと期待いたしております。

これからは市民の生活の中の文化、生きがいとしての文化へのとりくみが望まれるところでもありますが、もともと市民文化は日常の市民生活の中で生まれてくるものです。魅力ある個性的な文化を創り上げるのは市民の個性と創造性でありますので、本市といたしましても本年4月に大山田にコミュニティプラザを建設し環境づくりに努め、市民の創造・活動が充分に發揮されるよう場の提供、機会の提供、情報の提供と側面から援助してまいりたいと考えております。

最後になりましたが、本年は特に桑名市文化協会の皆様には『第9回国民文化祭・みえ94』への多大なる協力を得、『民謡・民舞の祭典』『大茶会』をはじめとする催しを成功へと導いていただきましたことに対し、深くお礼申し上げますとともに今後とも歴史ある本市の文化的伝統を大切にしながら、未来に向かって光かがやく文化の輪をより一層拡げていくためにご助力いただきますことをせつにお願いいたしまして開催にあたっての言葉とさせていただきます。



## 「余りにも大きいなる市」への 道 程

桑名市文化協会長 佐 藤 勤 三

微かに曙光が見えはじめたとはいえ、いまだに不況の中にありながら、桑名市民の文化活動は毎日どこかで行われており、毎週市民会館やコミュニティプラザなどでイベントが催され、博物館・図書館・六華苑などの利用も活発であり、私は桑名市民の日常の文化的エネルギーの旺盛さに驚いています。

桑名は3回甚大な敗戦の憂き目にあいました。（小さいのは他にある）一つ目は織田信長により、二つ目には戊辰の役で、三つ目には第2次世界大戦であります。

織田の桑名征伐は室町末期から江戸末期にかけての桑名の経済・文化に対して決定的な打撃とはならず、江戸末期ツンベルグの「日本紀行」では桑名は『大きな美しい町』と記され、シーボルトによれば『この市は余りにも大きくして又盛なり』（桑名市史補篇）とされています。歴史にもしもを許すならば、勤皇佐幕派は現代風に翻訳すると天皇の最高の権威を敬う地方分権共和国派ともいえるでしょう。（当時の知識人は蘭学を通じて世界の事情の概略を知っていた）江戸末期、外国奉行をつとめた小栗上野介が徳川慶喜に進言したように、国内最大の海軍力を持つ佐幕派が東海道を東進する薩長軍に駿河湾で艦砲射撃を加え、これを東西に分断していたならば（司馬遼太郎説）、これは私が勝手に想像するのですが、錦の御旗は桑名城で勤皇佐幕派のものとして翻っていたかもしれないし、日米戦もなかつたし、いま桑名は別の姿の文化と文明を築いていたことになるでしょう。私たちは現在大きな文明を作り上げたつもりであります。が、それは新しい文明の入口にいるにすぎないです。

この社会はさらに大衆者社会への道を辿っていくと思います。そして新しいテクノロジー（広大な飛行場を必要としないV T O L、喫水量が少なく時速百キロをこす貨物船T S L、地下都市、光ファイバーネットワーク…）が社会や文化を支え、変貌させ、この波の中で桑名市民の文化活動の輝きはシーボルトのいう「余りにも大きく盛んなもの」にしていくでしょう。その入口について当芸術文化祭が成功するよう皆様のご協力をお願ひいたします。

11月2日(水)

◆六華苑 番蔵棟◆

華道展

(9:00~17:00)

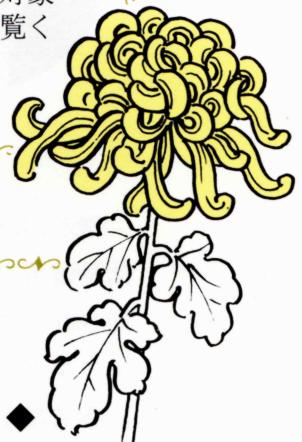
伝統的な生け花から前衛まで華麗な  
る花の競演をお楽しみ下さい。

◆市民会館 ロビー◆

菊花展

(9:30~17:00)

古来から高貴な花として観賞の対象  
になっている菊の優雅な姿をご覧く  
ださい。



11月3日(木)文化の日

六華苑 入苑無料

◆六華苑 番蔵棟◆

華道展

(9:00~17:00)

◆六華苑◆

茶会

(10:00~16:00)

大正のロマンの香りと一緒にお茶を  
味わってみませんか。  
今年は裏千家と松尾流です。

呈茶券…当日は 1,100円(2葉)

◆商工会議所 会議室◆

囲碁・将棋大会

(10:30~16:00)

日本の伝統的競技の緊迫した対局を  
お楽しみください。  
あなたの実力を試すチャンスです。  
桑名市に在勤・在住の方のご参加を  
お待ちしています。

当日申込み…会費 1,000円

◆市民会館 ロビー◆

菊花展

(9:30~17:00)

◆市民会館 ホール◆

芸能の祭典

(10:00~18:30)

三曲の調べ・吟詠剣詩舞・日本舞踊  
・民謡民舞から大正琴にジャズダン  
ス等と多彩なステージがお楽しみい  
ただけます。

(12:00~)

★『桑名の殿さん』披露

(第9回国民文化祭・みえ94に参加)

★ご挨拶

桑名市長・桑名市文化協会会長

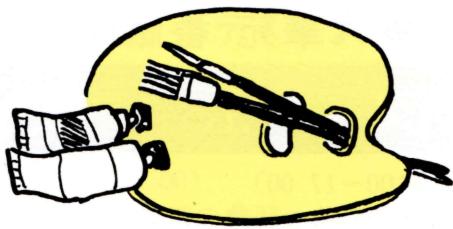
11月4日(金)

◆コミュニティプラザ◆

美術展

(9:00~17:00)

絵画・写真・書道・工芸・彫刻・彫型画・手工芸等の作品展示です。  
すばらしい芸術をご堪能ください。

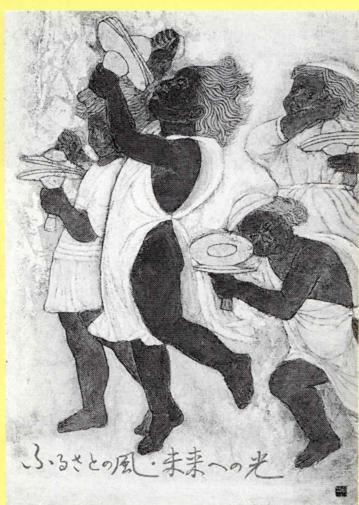


第3回桑名市民芸術祭テーマについて

# ふるさとの風・未来への光

歴史あるふるさと一桑名。この地に脈々と流れる文化のすばらしさを再認識し、今後の新しい文化の創造を願いながら、テーマとした。

ふるさとに新しい風をふきこみ、未来への一筋の光となるような催しでありたいと考えております。



第3回桑名市民芸術祭のポスター、ちらし、プログラムのデザイン画です。楽器を打ちならしながら元気よく行進している子どもたちを表現しました。桑名市文化協会の活動も未来にむかって一步一步前進させたいという願いをこめてデザインしました。

デザイン：水谷桑丘さん

11月5日(土)

六華苑 入苑無料

◆六華苑 番蔵棟◆

文 芸 展

(9:00~17:00)

日本語の持つ語彙の豊富さと美しさ  
・繊細な表現を味わっていただける  
ことだと思います。

◆六華苑 会議室◆

世界寺子屋の  
子どもたち展

(9:00~17:00)

アジア・アフリカの未開発国にはま  
だまだ文字を読めない子どもたちが  
います。世界寺子屋運動はそんな子  
どもたちをなくしたいという願いから  
生まれた識字運動なのです。

◆六華苑 一の間◆

ざっくばらん  
トーク(II)

(13:30~16:00)

アメリカに夢と希望を持ちながら留  
学先で銃の犠牲者となってしまった  
服部剛丈さんのお母様がご来苑され  
ます。

異文化について学び合いましょう。

◆コミュニティプラザ◆

美 術 展

(9:00~17:00)

◆市民会館大会議室◆

水 石 展

(9:30~17:00)

自然が造りあげた美しさや珍しさを  
石を通じてご覧ください。

◆市民会館 会議室◆

子ども文化展

(9:30~17:00)

手作り絵本の展示や、童話の読み聞  
かせ会は子どもたちだけでなく大人  
もメルヘンの世界に誘われます。

童話の読み聞かせ会（午後2時）

◆市民会館 ホール◆

演劇の祭典

(14:00~16:00)

あなたの夢を舞台にのせて、しばし  
現実を忘れてストーリーにひたって  
ください。

◆コミュニティプラザ◆

ロック&ウエスタン  
フェスティバル

(18:00~20:30)

知らず知らずのうちに、音楽の中に  
ひきこまれてしまう—そんな不思議  
な魅力をロックやウエスタンは持つ  
ています。

11月6日(日)

◆六華苑 番蔵棟◆

文芸展

(9:00~15:00)

◆六華苑 会議室◆

世界寺子屋の  
子どもたち展

(9:00~15:00)

◆市民会館大会議室◆

水石展

(9:30~17:00)

◆市民会館 ホール◆

音楽 a la ca r te  
あらかると

(13:00~16:30)

吹奏楽、合唱、マリンバ・アンサンブル、シンセサイザー演奏等いろいろな音楽と楽しいおしゃべりで進めていきます。そんなひととき、ご一緒しませんか。

◆コミュニティプラザ◆

美術展

(9:00~16:00)

◆コミュニティプラザ◆

合唱と  
弦楽の祭典

(13:00~17:00)

思わず口ずさんでしまう歌、うつとりとしたサウンド、そして弦楽の響きに耳を傾けてください。

◆市民会館 会議室◆

子ども文化展

(9:30~17:00)

童話の読み聞かせ会

(午前11時と午後2時)



## 桑名市民芸術文化祭テーマソング

## “何かが生まれる,”

作詞 大竹 敏雄  
作曲 植山 菜穂子

Andante ( $\downarrow = \text{ca}80$ )